

令和3年度事務事業点検の結果について

1. 実施目的

少子高齢化等、社会情勢の変化に対応した事業を実施するためには財源が必要となりますが、毎年度の予算編成及び実施計画策定においては、財源を大幅に超えた歳出予算要求が行われています。そのような中で市民ニーズに沿った新規事業を実施するためには、既存事業の改廃、いわゆるスクラップ&ビルドが不可欠となっています。

そこで、平成30年度より事業費を伴う政策的な事務事業を対象とした「事務事業点検」を実施しており、事業の廃止や見直し、縮小等を検証しています。

なお、点検結果が反映される令和元年度からの2年間では、約181,000千円の効果額が出ています。

2. 対象事業

令和3年度は、事業費予算を伴う事業や事務改善が見込まれる事業等の中から20事業を対象としました。

3. 見直しの手法

対象事業ごとに「事業の必要性」と「改善の必要性」を点検・検証しました。

また、今年度は、これまでの事業費削減の観点だけでなく、オンライン化をはじめとする事務改善や市有財産の有効活用等という視点を追加して、見直しを実施しました。

4. これまでの事務の流れ

令和3年4月1日～5月7日	1次点検（各課評価シートの作成・提出）
令和3年7月2日～8月4日	2次点検（担当課長ヒアリング）
令和3年8月19日～8月27日	3次点検（担当部長ヒアリング）

5. 点検結果の反映

事務事業点検の結果については、実施計画及び予算に反映させています。

6. 点検結果

点検区分	事業数	備考
廃止	0	今回の点検結果を契機として、廃止に向けて取り組んでいく事業
見直し	11	今回の点検結果を契機として、見直しを検討していく事業
縮小	0	今回の点検結果を契機として、縮小を図っていく事業
現状維持	9	点検の結果、現状維持となった事業
計	20	

7. 効果額

年 度	効果額（千円）
令和4年度	1,138
令和5～8年度	3,414
計	4,552

※令和5～8年度は見込額

8. 点検結果の概要（主な廃止・見直し・縮小事業）

【見直しと判断した事業】

科目（事業）名称 （カッコ内は見直し目標年度）		取組方針	効果額（単位：千円）		
			計	R4	R5～7
古紙回収事業	（ - ）	これまでの戸別回収から集積所回収に変更して月当たりの回数を増やすことで、市民サービスの向上に努めるとともに、報償の見直しを実施する。	-	-	-
ペーパーレス化、オンライン化及びデータの可視化に伴う各種事業の見直し	（ R3 ）	電子回覧・電子決裁の推進、各種申請やアンケート等をオンライン化することにより、市民サービスの向上やペーパーレス化を実施する。	1,112	278	834
防災情報発信事業	（ R3 ）	職員向け災害時緊急メール(テスト含む)を送信した旨を専用LINEアカウントでお知らせすることで、職員の意識向上を図る。	-	-	-
財産活用検討調査	（ - ）	市有財産の活用方法を検討する。	-	-	-
備品管理方法の見直し	（ R4 ）	これまで紙で管理していた台帳を電子化することで、備品管理が容易となり事務改善を図る。	-	-	-
外国語通訳者配置事業	（ R4 ）	テレビ通訳システムの活用を関係課と調整し、通訳者の安定的な確保の実現と市民サービス向上を図る。	-	-	-
イベント時における広告収入の機会創出	（ R4 ）	広告収入の無いまつり等に対する協賛を募り、広告収入の機会を創出する。	240	60	180
ゴミカレンダー配布事業	（ R4 ）	上乗せ配達から広報ちりゅうへの折込みに切替えることで、郵送料の削減を図る。	3,200	800	2,400
見直し 計			4,552	1,138	3,414